

新シンボルロゴ 決まる!

二〇〇七年一月、九州大学はUIプロジェクトチームの提案を受け、新しいロゴタイプ（九州大学の文字）及びシンボルロゴ（シンボルとロゴタイプの組み合わせ）を決定しました。

新しく決定したシンボルロゴは、「ロゴタイプの明確さ」、「使いやすさ」、「国際性」のコンセプト、及び学内外七五〇人以上に行ったアンケート調査の結果などを基にデザインされています。シンボルロゴには五つのタイプがあり、今後九州大学が発信するさまざまなメディアで使用していきます。

	天地方向	左右方向
和文+英文		なし
和文		
英文		

シンボルロゴの仕組み

シンボルロゴは「シンボル」と「ロゴタイプ」の二つの要素から構成されます。組み合わせは厳密に定められており、使用する状況に合わせて五つのタイプのいずれかを使用します。



シンボル

（松葉をかたどった円形のマーク）

一九五〇年から使用されている学生バッジのデザインをより使いやすく、より現代にマッチした形でリデザインし、二〇〇四年から正式なシンボルとして使用しています。

ロゴタイプ

（九州大学「KYUSHU UNIVERSITY」(S文字)

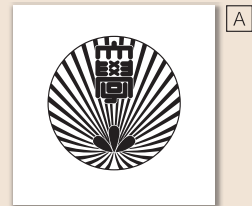
和文ロゴタイプはシンボルの形状に合わせたオリジナルの書体をデザインしました。英文は和文に合わせてオランダのswissという書体を指定しています。

シンボル（松葉マーク）の歴史

九州大学のシンボルの歴史は一九四九年にさかのぼります。学生バッチの図案公募が行われ、七十人の学生から一五三点の応募がありました。応募作品の題材は、松の木や葉、松かさや樹皮といった松を図案化したものが多く、当時病院地区から箱崎地区まで一面に広がっていた松原が多く、多くの学生の心に残っていたことがうかがわれます。

学校側、学生側同数の委員からなる審査会を開いて検討した結果、当時、農学部農業土木学科三年だった宗好秀氏の、松の葉をモチーフとした図案が採択され、一九五〇年二月十日から使用されることになりました。

二〇〇三年三月三日、約半世紀の伝統を持つ学生バッチの図案をもとにデザインした新しいシンボルが広報専門委員会において承認されました。これが現在使用されている現シンボルです。同年、ブランド戦略の一環として、このシンボルを商標登録しました。



UIプロジェクト



二〇〇四年に現シンボルが商標登録されて以来、様々なシーンでシンボルを使用してきましたが、九州大学のブランドイメージをさらに確立し、より強化する目的で二〇〇六年四月に大学院芸術工学研究院と芸術工学府に所属する教員と学生、及び広報室から成る「UIプロジェクト」が開始しました。

このプロジェクトの特徴のひとつは、芸術工学府の大学院生が授業も含めて、積極的に関与し、シンボルやロゴタイプのデザイン、使用ルールなどを検討してきたことです。UIプロジェクトの活動については次号の「九大広報」で詳しくご報告します。

UIカラー

九州大学を象徴する色を「UIカラー」として定めています。レイアウトなどにUIカラーを効果的に使うことにより、「九州大学らしさ」を強調することができます。

DIC230
C35M100Y50K35
Nocs51-02
(10RP3/12)

UIデザインマニュアル

二〇〇七年三月、シンボルロゴを適切に浸透・普及させることを目的に「UIデザインマニュアル」を作成しました。また、マニュアルを読みやすく、いつでも参照できるようにした「UIハンドブック」も作成しています。シンボルロゴのしくみ、運用の考え方やルール、さらに封筒、レターヘッド、名刺、印刷物などへのシンボルロゴの適用・活用方法も提案されています。詳細は左記のURLからご覧下さい。

http://www.kyushu-u.ac.jp/university/logo/index_top.ph

例：名刺（UIハンドブックP46、P47）



お問い合わせ／九州大学広報室
電話：092-642-2106
メール：koho@jimukyushu-u.ac.jp